

## 2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月27日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東  
 コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名) 藤田 晋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202  
 四半期報告書提出予定日 2022年7月28日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (ライブ配信のみ)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	534,348	9.8	55,898	△27.9	56,266	△27.7	20,701	△37.4	29,927	△39.8
2021年9月期第3四半期	486,732	36.1	77,513	171.9	77,799	173.3	33,044	462.1	49,738	288.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	40.94	38.76
2021年9月期第3四半期	65.46	61.97

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	374,695	216,683	140,515	37.5
2021年9月期	382,578	194,145	128,883	33.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2022年9月期	—	0.00	—		
2022年9月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	5.0	70,000	△32.9	70,000	△33.1	25,000	△39.8	49.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年9月期3Q	505,706,400株	2021年9月期	505,706,400株
② 期末自己株式数	2022年9月期3Q	1,004株	2021年9月期	251,404株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年9月期3Q	505,576,066株	2021年9月期3Q	504,783,449株

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数 (四半期累計) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため、新しい未来のテレビ「ABEMA」への投資をしつつ、当第3四半期連結累計期間における売上高は534,348百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は55,898百万円（前年同期比27.9%減）、経常利益は56,266百万円（前年同期比27.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20,701百万円（前年同期比37.4%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### ①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」、「Ameba」等が属しております。

新しい未来のテレビ「ABEMA」PPV及び周辺事業が増収を牽引し、売上高は81,842百万円（前年同期比36.0%増）、営業損益は9,779百万円の損失計上（前年同期間11,215百万円の損失計上）となりました。

#### ②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

高い増収率を継続し、過去最高の売上高を更新し、売上高は284,428百万円（前年同期比19.0%増）、営業損益は19,409百万円の利益計上（前年同期比7.0%増）となりました。

#### ③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Craft Egg、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

前四半期の大型イベントの影響等があり、売上高は173,551百万円（前年同期比6.9%減）、営業損益は48,427百万円の利益計上（前年同期比29.4%減）となりました。

#### ④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は3,353百万円（前年同期比45.1%減）、営業損益は2,119百万円の利益計上（前年同期比54.0%減）となりました。

#### ⑤その他事業

その他事業には、(株)マクアケ、(株)リアルゲイト、(株)ゼルビア等が属しており、売上高は19,325百万円（前年同期比23.1%増）、営業損益は356百万円の利益計上（前年同期比36.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は374,695百万円（前連結会計年度末比7,882百万円の減少）となりました。これは、主に法人税等及び配当金の支払等に伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は158,012百万円（前連結会計年度末比30,420百万円の減少）となりました。これは、主に法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は216,683百万円（前連結会計年度末比22,537百万円の増加）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び非支配株主持分の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の業績予想につきましては、2022年4月27日に公表いたしました予想に変更ありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	181,451	167,264
受取手形及び売掛金	75,300	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	64,395
棚卸資産	3,226	3,123
営業投資有価証券	18,969	15,937
その他	22,832	35,807
貸倒引当金	△130	△80
流動資産合計	301,650	286,447
固定資産		
有形固定資産	16,740	19,219
無形固定資産		
のれん	4,957	5,358
その他	21,484	19,119
無形固定資産合計	26,442	24,478
投資その他の資産		
その他	37,800	44,622
貸倒引当金	△97	△99
投資その他の資産合計	37,702	44,523
固定資産合計	80,885	88,220
繰延資産	42	27
資産合計	382,578	374,695
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	56,055	57,281
短期借入金	1,037	3,700
未払法人税等	29,723	3,201
その他	53,898	63,875
流動負債合計	140,714	128,058
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,228	20,113
長期借入金	1,174	3,368
勤続慰労引当金	1,851	2,553
資産除去債務	1,974	2,106
その他	2,489	1,812
固定負債合計	47,718	29,953
負債合計	188,433	158,012
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	11,198	11,729
利益剰余金	100,794	115,698
自己株式	△67	△1
株主資本合計	119,128	134,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,517	5,644
為替換算調整勘定	237	242
その他の包括利益累計額合計	9,755	5,886
新株予約権	1,320	1,624
非支配株主持分	63,940	74,543
純資産合計	194,145	216,683
負債純資産合計	382,578	374,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
売上高	486,732	534,348
売上原価	318,802	368,816
売上総利益	167,929	165,532
販売費及び一般管理費	90,415	109,633
営業利益	77,513	55,898
営業外収益		
受取利息	100	104
受取配当金	323	381
その他	344	331
営業外収益合計	768	817
営業外費用		
支払利息	9	42
持分法による投資損失	280	216
その他	193	191
営業外費用合計	483	450
経常利益	77,799	56,266
特別利益		
投資有価証券売却益	8	306
関係会社株式売却益	1,578	805
固定資産売却益	1	330
その他	523	0
特別利益合計	2,111	1,443
特別損失		
減損損失	2,140	3,320
その他	621	274
特別損失合計	2,762	3,595
税金等調整前四半期純利益	77,149	54,114
法人税、住民税及び事業税	26,158	16,451
法人税等調整額	12	3,983
法人税等合計	26,171	20,435
四半期純利益	50,977	33,678
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,932	12,977
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,044	20,701

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	50,977	33,678
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,308	△3,756
為替換算調整勘定	157	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	△88	17
その他の包括利益合計	△1,239	△3,751
四半期包括利益	49,738	29,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,761	16,832
非支配株主に係る四半期包括利益	17,976	13,095

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

これにより、主にゲーム事業におけるアイテム課金による収益は、従来、ユーザーがゲーム内通貨を使用し、アイテムを購入した時点で収益を認識しておりましたが、顧客の見積り利用期間に基づいて収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

なお、収益認識会計基準89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替を行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	55,553	224,993	186,159	6,107	13,918	486,732	—	486,732
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,619	14,089	175	—	1,779	20,663	△20,663	—
計	60,173	239,082	186,335	6,107	15,697	507,395	△20,663	486,732
セグメント利益又は損失 (△)	△11,215	18,144	68,589	4,603	562	80,685	△3,171	77,513

(注)セグメント利益の調整額△3,171百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収 益(注2)	74,446	266,538	173,211	3,353	16,799	534,348	—	534,348
(1)外部顧客への売上高	74,446	266,538	173,211	3,353	16,799	534,348	—	534,348
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,396	17,890	340	—	2,526	28,153	△28,153	—
計	81,842	284,428	173,551	3,353	19,325	562,501	△28,153	534,348
セグメント利益又は損失 (△)	△9,779	19,409	48,427	2,119	356	60,533	△4,634	55,898

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,634百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 収益認識方法については、「注記事項(会計方針の変更)」に記載の通りであります。

3. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

これによる各事業セグメントにおける当第3四半期連結累計期間の「外部顧客への売上高」及び「セグメント利益及び損失」への影響は軽微であります。